

令和3年度 学校自己評価システムシート（県立松伏高等学校）

目指す学校像	学力の定着及び向上と、専門的な技術・能力の伸長を図るとともに、幅広い社会性を身につけさせ、地域に信頼され貢献できる人材を育成する。
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育課程や学習指導計画及び授業の工夫・改善を進め、学ぶ意欲と学力を向上させる。 2 キャリア教育を進め、高い進路意識を育み、進路希望を実現できた生徒の割合を高める。 3 生徒会活動や学校行事の質を高め、部活動を活発化させる。 4 規律を重んじ、地域に信頼され貢献する教育活動を推進する。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	7名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	13名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 （ 2 月 1 日 現 在 ）	
年 度 目 標					年 度 評 価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力の定着及び向上に向け、学習習慣の定着、学習時間の増加に引き続き取り組む必要がある。 新学習指導要領に係る新教育課程、観点別評価の共通理解を深める必要がある。 コロナ禍での教育活動を適宜適切に進める。 	組織的な取組と授業力向上の取組	<ol style="list-style-type: none"> ①教務部と進路指導部が連携し、長期休業中を含む進学等補習を計画・実施する。 ②授業の工夫・改善に資するために教員相互の授業観察を積極的に行う。 ③課題の内容や出し方、家庭学習のさせ方など工夫し、生徒の学習時間を増やす。 ④授業利用の促進を通じて貸出利用率を上げる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①開講講座数・受講生徒数が増加したか。 ②教員相互の授業観察者数は増加したか。 ③生徒の学習時間が増加したか。 ④本の貸出数・図書館利用が増加したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①通年で8講座、夏期進路補習12講座開。(昨年とほぼ同数) ②一昨年との比較では減少したが、延べ55回の相互観察が行われた。(平均一人1.5回) ③生徒アンケートで毎日勉強しているとの回答が48.6%と昨年度並みであった。 ④利用率は昨年度46.6%から今年度47.8%に、貸出数は3250冊から4562冊に増加。 	B
		新学習指導要領、新教育課程への対応	<ol style="list-style-type: none"> ①令和4年度から実施の新学習指導要領に係る観点別評価の共通理解を深める。 ②令和4年度から実施の新教育課程の点検・調整を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①観点別評価の準備を進めることができたか。 ②微調整、改善点は改善できたか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①観点別評価を進める特別委員会を組織し、研修会を実施。職員全体の理解を深め評価基準、学習評価計画を作成した。 ②来年度の教育課程に係る微調整を行った。 	A
2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の進路希望の実現のために指導を工夫してきている。引き続き各分野でのきめ細かい指導を継続していく必要がある。 	大学、専門学校への進学、就職希望者への指導など系統的なキャリア教育の推進	<ol style="list-style-type: none"> ①大学進学希望者への入試情報の提供、それに対応した指導の実践を行う。 ②大学進学、看護医療系等希望者への補習内容を充実させる。 ③求人情報の集約方法を工夫し、求人先を確保する。 ④オンライン等利用し、進路に関する情報提供を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の大学等進学希望が実現できたか。 ②補習内容の充実、補習参加者は増えたか。 ③就職希望者の内定率100%を達成できたか。 ④情報提供の満足度は上昇したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校からの推薦等によって36名が合格。 ②夏期進路補習は延べ90名が参加するなど昨年度より多くの生徒が参加した。 ③学校幹旋の内定率は13年連続100%を達成。 ④生徒アンケートから95%の生徒が情報提供に満足といえる回答。(昨年度と同値) 	A
		進路実現に必要な各種検定試験や高度な資格取得	<ol style="list-style-type: none"> ①各検定合格を目指した指導を行う。また補習体制を強化する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①各検定に対応した適切な指導ができたか。また各種検定合格者数が増加したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①コロナ禍での困難な状況での検定実施となったが、結果は、日商、全商簿記、珠算、電卓、情報処理、ビジネス文書等合格者増。上位検定の日商簿記2級2名、全商簿記1級に4名合格。 	A
3	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の学校生活の中で、学校行事や生徒会活動の実践、部活動を通して幅広い社会性を身に着ける機会を設けていく必要がある。 	コロナ禍での生徒会活動、学校行事の実践	<ol style="list-style-type: none"> ①感染予防対策を徹底しながら生徒の活動機会を最低限維持し実施する。 ②学年及び学校行事を通じて、生徒会役員候補の育成を行う。 ③生徒会役員の業務の精選及び見直しを行い魅力化を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒会行事が円滑に行えたか。 ②生徒会役員に1年生が増えたか。 ③生徒会役員の活動が効率よく行えたか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①文化祭、予餞会等リモートも活用して円滑に実施。活動方法の可能性を広げた。 ②1年生の加入は5名。昨年度とほぼ同数。全体では12名で昨年度より増加。 ③online会議、ICT活用のアンケートシステムの導入など、コロナ禍に対応した効率的な活動ができた。 	A
		ガイドラインに沿った部活動の活性化	<ol style="list-style-type: none"> ①1年生の全員加入と効率的な活動により部活動の活性化する。 ②ホームページや部活動掲示板を活用し各部の活動を発信する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①部活動掲示板が効果的に活用されたか。 ②各部活動のHPの更新は適宜適切に行われたか。 ③各部の部員増や定着率増につながったか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①新入生勧誘時は活用したが、その他の期間は有効活用できていなかった。 ②活発に更新した部もあったが、部によって偏りがあった。 ③4月の部活動加入率は92%で定着している。 	B
4	<ul style="list-style-type: none"> きめ細かい指導で、落ち着いた教育活動が展開されている。引き続き、学校規律を重んじ、生徒にとって安心で安全な学校生活を支援する。 長年地域との連携を大切にしている。引き続き連携し、学校の教育活動の情報を発信し、地域に信頼され貢献する教育活動を推進する。 	挨拶・遅刻・服装等規範意識の醸成	<ol style="list-style-type: none"> ①全教員が、その場で改善させる「その場指導」を徹底する。 ②全教員が、生徒に「気付かせる指導」を徹底する。 ③実施方法を検討した上で交通安全教室を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①整容指導違反者数が減少したか。 ②生徒指導件数が減少したか。 ③交通事故件数が減少したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①定期的に行った整容指導の成果が見られ、落ち着いた学校生活が送れている。 ②昨年と同数だが、数は非常に少ない。 ③自転車安全運転教育の実践やパンフレットを配布したが、件数(昨年と同数)であった。 	B
		生徒の命を守る交通安全指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①「松高Times」と「部活動紹介」を定期的に発行し、地域の小中学校等に配布する。 ②ホームページを活用して本校の取組や活動をより広く発信する。 ③コロナ禍での生徒募集を工夫し、本校の魅力を広く発信する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域社会の一員としての自覚が持てたか。 ②松伏高校の特色や魅力を分かりやすく伝えられたか。 ③学校説明会の参加人数と入学志願者数が増加したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②松高Timesを学校説明会で配布。生徒会作成の学校紹介・部活動紹介の動画をHPにアップ。地元小学校との交流。地域からの御意見には迅速に対応した。 ③説明会参加者は普通科4回の説明会に延べ380人参加。(昨年比約40人増)音楽科は1回平均34人の参加。(昨年比増) 	B

学校関係者評価
実施日 令和4年3月1日
学校関係者からの意見・要望・評価
<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人異なる学習意欲を刺激する。生徒が興味を持つ分野や、伸ばしたい力を捉え、補習や講習内容に生かし、学習意欲を高める。 教員相互の授業観察は、教員の学ぶ機会を設けることになり、よい取組だと評価できる。 図書館の利用率の増加は評価できる。
<ul style="list-style-type: none"> 大学への推薦入学36名、学校幹旋の就職内定率13年連続100%は評価できる。 検定合格者の増加は生徒の励みとなる立派な結果だと評価できる。 進学や就職に向けた取組の強化は、多様な進路実現に夢を持つ中学生へのアピールになる。
<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて、様々な可能性を考えながら企画立案を行い、生徒の協働、団結、達成感が得られる行事づくりを進める。 生徒会指導では生徒が自発的な動きが作れるよう指導していく。 部活動の魅力伝える工夫をしていく。
<ul style="list-style-type: none"> 感染予防策を取りながら、学校行事を実施したことは素晴らしい。 リモートの活用で、さらなる生徒会活動の活発化を期待する。 生徒会が中心となり、学校生活を盛り上げ、生徒が楽しく高校生活を送れるよう、さらなる実践を進めてほしい。 HPでの一層の情報発信を望んでいる。 部活動の魅力伝えるのに、HPの活用は有効だと考える。
<ul style="list-style-type: none"> 生徒に「気付かせる」指導はとてもよい。また生徒のコミュニケーション力向上の指導は大切である。 交通事故はゼロが目標。被害者・加害者になる可能性や状況など、気づきを持たせる指導はよい。 コロナ禍ではあるが、地域の小中学校との連携を強めていくことを期待する。 開かれた学校づくりのために多くの取組がされているのはよい。 HPで学校の様子がわかるように更新してほしい。